

しまね大交流会 2020 ローカルアクション展 (11月7日)

11月7日(土)にオンラインで開催された「しまね大交流会 2020」に、本校の2年生が参加しました。「しまね大交流会」とはしまね産学官人材育成コンソーシアムが実施母体となり、学生、生徒と企業、自治体、教育機関との交流を行うイベントです。昨年までは松江市のくにびきメッセで行われてきましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインでの実施となりました。

この会の中の「ローカルアクション展」という企画に、2年生普通科の課題探究から3班、2年生理数科の課題研究から1班が参加しました。課題探究、課題研究のいずれも先日校内での中間発表会を終えたところで、発表内容としてはそのときとほぼ変わりませんが、今回は校外の人に向けて発表するということや、慣れないzoomを用いたオンラインでの発表ということもあり、生徒達はやや緊張した様子でした。会が始まり、参加各校の自己紹介などで緊張もほぐれ、本番ではどの班も堂々と発表ができました。発表後の質疑応答の時間ではこれまでにないような視点からの助言をいただくことができ、今後の活動に生かすことができそうです。また、普段はなかなか知ることのできない他校生の発表を聞くことができたのも大きな刺激となったようで、とても実りの多い会となりました。関係者の皆様、ありがとうございました。

参加生徒の感想より

「他校の人たちの発表がとても論理的で話も上手く、私もそんな発表ができるように頑張ります。」

「自分達の取り組んでいる活動を発表し、いろんな意見をもらう中で凄く自分たちの取り組みに誇りを持つことができ、やる気がupした。今後も頑張りたい。」

